

令和7年8月13日

門川町議会議長 様

(5 番) 門川町議会議員 松本 良一



一 般 質 問 通 告 に つ い て

令和7年門川町議会第3回定例会において、下記のとおり質問いたしたいので
会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

受 付	8 月13日 午 前 9 時35分 後	No. 1
--------	---------------------	-------

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1. 高齢者対策について	我が国は、2008年をピークに人口減少・少子高齢化が急速なペースで進行している。国立社会保障・人口問題研究所の推計準拠では、本町の人口は2030年には15,924人と推計されている。また町が策定した人口ビジョンの将来展望でも人口は約16,000人になると予測され、その内65歳以上の高齢者が3人に一人という状況が発生する。住み慣れた地域で、いつまでも元気で安心して暮らし続けられる地域社会の構築が大事である。 そんな中、「やすらぎと生きがいのあるみんなで創る共生社会のまちづくり」をテーマに、「第20回門川町福祉推進大会」が7月27日開催され、地区会長、民生児童委員、福祉推進委員や行政職員、議員等多くの町民の方々が参加していました。 その大会の基調講演で、「自助」が無理になれば「共助」の道を模索しなければならない。他人事ではなく自分たちで住みよい街づくりを行うという活動に、大変感銘を受けたところです。 そこで次の点について、お聞きします。 ① 現在、各公民館で百歳体操を実施していると思うがその数は。	町 長

	② 百歳体操終了後、話し合い(サロン)を実施している数は。 ③ 地域における高齢者の見守りの現状は。 また高齢者の増加により、見守りまたは支援が必要な認知症の方が年々増加しており、その数は高齢者の約1割と想定されている。認知症になっても共に過ごせる地域づくりを目指して、現在町内には4つのオレンジカフェが活動している。さらに昨年6月にはこれらの責任者や包括支援センターの職員などが集まり、「チームオレンジかどがわ」が結成された。この「チームオレンジかどがわ」の会議の中で、参加者の高齢化が進み、会場に参加が難しくなっている方々が増え、退会を申し出ている参加者が出てきている状況にあるとの報告があった。 そこで次の点について、お聞きします。 徒歩でも参加が可能になるよう各地区にオレンジカフェの設置は出来ないか？また参加が難しくなっている方々に送迎の支援は出来ないか。	
2. 学校における環境整備について	去る7月23日に町内一斉ラジオ体操が実施され、自分は門川小学校での一斉ラジオ体操に参加した。正面入り口を入ると花壇があり記念碑がある。その花壇は草が生い茂っており、また校舎前の空き地には、大量の草が伸び放題の状況だった。 ご存知のように年間3回程度、PTA会員が、運動会等の行事の前に、校内の草刈り等を実施しているが、長雨が續くと花壇の雑草や空き地の草は、伸び放題である。あまりひどくなってくると校長先生や事務職員の方が、草刈り等を実施しているようだが学校内は空き地が広くその作業量は膨大で、とてもではないが無理と思われる。 そこで、延岡市や日向市のように学校技術支援員を各学校または教育委員会内に配置し、校内の環境整備つまり花壇の整備、草刈りそして校舎内のちょっとした修繕などを行う等体制は取れないか。	教 育 長